

平成29年度当初予算 予算要求シート

事業区分： 新規・拡充 マスタープラン： 3つの挑戦 / 低炭素 施策番号： 5-1

局・課名： 環境局・環境エネルギー課

事業名	バーチャルパワープラント(VPP)構築に向けた実証事業	事業費(千円)	平成27年度決算額	平成28年度予算額	平成29年度要求額		
				0	1,070		
事業概要	<p>【目的】 環境モデル都市として、最先端の技術により、電力システムの安定化を図り、再生可能エネルギーの地産地消による安全なエネルギー社会の実現をめざすため、国、電力会社等と連携した実証事業に取り組む。</p> <p>具体には、市内の太陽光発電、HEMS、蓄電池による連携システムを設置している住宅(スマートハウス)を活用し外部から統合制御することで、あたかも一つの発電所(仮想発電所VPP)のように機能させる実証事業を実施する。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電+HEMS+蓄電池を導入した住宅(100戸)を対象とする。 ・電力会社、蓄電池メーカーが開発した電力系統や、蓄電池の制御システムを利用し、市内各戸の機器を遠隔制御する。具体には、中間期等、太陽光発電による電力が系統に流れることで系統の需給バランスが崩れる場合を想定し、系統に流れる電気を各戸の蓄電池に溜めることによる系統負荷の抑制効果等を調査する。 ・対象者向けに、有識者講演会・説明会を実施し、再生可能エネルギーの利活用及びVPPへの理解を深めていただく機会を提供する。 <p>【今年度要求のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○経済産業省「バーチャルパワープラント構築事業補助金」(平成29年度)との連携を図る。 ○スマートハウス化支援事業、晴美台エコモデルタウン創出事業により設置された機器を有効活用し、市民に実証協力いただく。 ○産官学の協働事業として実施する。 ○一般住宅を対象としたVPP実証事業として国内初、最大規模をめざし、「環境モデル都市・堺」のPRとする。 	債務負担行為	期間		要求額(千円)		
				H ~ H			
				主な要求内容 (単位:千円)			
				項目	28年度予算	29年度要求額	内容・積算等
				事業委託料等		1,070	委託料、通信費 他
				合計	0	1,070	
				スケジュール(経過及び今後展開)			
		【経過(～28年度)】 VPP実証事業のためデータ整理、国、関係会社との調整に基づく事業計画の検討。 デマンドレスポンス実証事業への参画。	【29年度】 VPP実証事業の実施 データの収集・分析・公表	【今後予定(30年度～)】 国と連携したVPP事業の拡大実施			
		その他 特記事項					
		平成27年度から、国のデマンドレスポンス実証事業に参画し、電力会社からの要請に合わせた市施設の節電制御実験を実施中。					

整理番号： 10 - 1 - 0050